

## IV 地域アクションプランからの 自立プラン



## 地域アクションプランからの自立プラン

地域アクションプランとして目指した姿が実現し、今後においてさらなる取組の拡充がないものや、自ら課題解決できる力が備わった取組など、地域アクションプランとしてのサポートを必要としなくなったプランについて、「地域アクションプランからの自立プラン」として整理します。

なお、自立プランに位置付けたプランについては、産業振興推進地域本部において、定期的（年に一回程度）な状況把握を行い、新たな事業展開があり、サポートが必要な場合は、再度地域アクションプランに位置付けを行います。

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果
物部川	大学生による地域応援団(サポーター)づくり  《物部川流域全域》	地域と大学等の学生の交流機会を増やし、相互の理解を深めることにより、物部川地域をサポートする『地域応援団(サポーター)』を作っていく。	・人と地域の研究所 ・学生グループ	取組期間：H21～H27 ・高知工科大学、NPO、地元、市など関係機関との連携協議(H21) ・NPO法人(人と地域の研究所)がふるさとインターンシップ事業(県から委託)を実施(H21～23) ・(一社)いなかパイプが重点分野雇用創造地域暮らし体験実施事業(田舎ビジネスマネージャー育成プログラム「マネチャレ！」(県から委託))を実施(H24) ・学生グループと地域団体等のマッチングを行い、交流活動を実施(H24～27) ◆交流した学生数 19名(H23)→278名(H27.12月末時点)
高知市	中心商店街でのアンテナショップの運営	中心商店街で開設した常設のアンテナショップ「てんこす」の運営により、地域産品の販売を促進し、地域の生産者等の収入の確保につなげるとともに、各種の情報提供により、来街者の利便性の向上や商店街の売上げの増加を図る。	・(株)まこと	取組期間：H21～H27 ・アンテナショップ「てんこす」の整備(H21) ・地域産品の掘り起こしと販売(H21～27) ・県外や大型客船入港時の出張販売(H23～27) ・NPOと連携したタウンモビリティの実施(H25～27) ◆加工品販売額 89,181千円(H22)→146,589千円(H26) ◆取扱いアイテム数(累計) 2,136品目(H22)→4,972品目(H26)

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果
嶺北	濁酒等を活用した地域資源との連携による地域の活性化  《大豊町、本山町》	地域の特産品となる濁酒等の製造・販売と地域の観光資源との連携によって、交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげる。	・生産者 ・大豊町濁酒協議会 ・本山町濁酒協議会	取組期間：H21～H27 ・濁酒製造免許を取得し、濁酒製造を開始（H22～24） H22.5月 大豊町 H23.4月 本山町（1件目） H24.12月 本山町（2件目） ・ステップアップ事業の導入による販促資材等の導入 H22 大豊町濁酒協議会 H24 本山町濁酒協議会 ・販促活動（延べ24日（H26）） ◆生産者数 1名（H22）→3名（H27）
	滞在型市民農園の推進による地域の活性化  《本山町》	滞在型市民農園を整備し、都市部の住民の農業や田舎暮らしへの関心を高めて地域への移住につなげ、産業の活性化、雇用の創出、交流人口の拡大、農業の担い手づくり等による地域の活性化を図る。	・本山町	取組期間：H23～H27 ・整備、運営を担う「本山町市民農園整備促進協議会」の設立（H23.12月） ・施設整備（H24～H25.4月）、運営開始（H25.6月） ・パンフレットの作成・配布、ウェブ、移住相談会等における滞在型市民農園のPR（H24～） ・農機具の使い方講習会、道づくり等の集落活動、イベント等による利用者と住民の交流（H25～） ・農業体験、フットパス等のイベント開催による地域外との交流（H25～） ◆本山町への移住者数（H24～H27.11月累計） 48人（H27目標30人の160%） ◆滞在型市民農園の稼働率向上 40%（H27.3月末現在） →80%（H27.11月末現在）

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果
仁淀川	地元企業の活性化(芋菓子加工販売拡大事業)  《日高村》	高知県産のさつまいもを活用した新製品の開発などによる生産販売の拡大を推進する。	・渋谷食品㈱	取組期間: H21～H27 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し菓子製造工場を整備(H21)</li> <li>・商品開発(H21～)</li> <li>・「芋屋金次郎松山店」を出店(H23)</li> <li>・「芋屋金次郎日本橋店」を出店(H25)</li> <li>・「芋屋金次郎道後店」を出店(H27)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆芋屋金次郎部門の売上高 2.0億円(H21)→7.3億円(H26)</li> <li>◆大月町芋づくり等産地化育成協議会からのさつまいも仕入量 100t(H22)→400t(H26)</li> </ul>
高幡	四万十町のこだわり野菜を使った加工品の生産販売による地域活性化  《四万十町》	四万十町の農薬や化学肥料を使わずこだわりを持って栽培した野菜を利用して、価値を最大限に活用した加工品の開発と販売拡大を行い、農家所得の向上と地域雇用の確保、農業の担い手づくりなど地域の活性化を図る。	・桐島畑	取組期間: H22～H27 <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工施設の整備(H22)</li> <li>・新商品開発と販売(H22～27)</li> <li>・農業研究生の受け入れ(H22～27)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆加工品販売額 6,558千円(H21)→30,000千円(H27見込)</li> <li>◆雇用の創出 9名(4名(H22)→13名(H27))</li> <li>◆農業研修修了生の地域への定住 5名</li> </ul>
幡多	レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業  《宿毛市》	民間事業者による地域水産物の利用促進と消費拡大を目指す。	・㈱ピアースーティ	取組期間: H22～H29 <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工施設を整備(H22)</li> <li>・自社レストランでイベント等を開催(H22～)</li> <li>・系列店「宿毛にく工房」開設(H28)</li> <li>・活魚の取り扱い開始(H29)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆売上高 1.5億円(H23)→3.7億円(H28)</li> <li>◆雇用の創出 2名(18名(H22)→20名(H28)) (このほか、宿毛にく工房で9名をパート雇用)</li> </ul>

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果
幡多	苺を核とした6次産業化確立事業 《大月町》	大月町の新しい加工品として注目されている苺氷りの販売拡大および新商品開発により、苺を大月町の新しい特産品として育成し、生産から加工、販売までの一貫体制の構築を目指す。	農業生産法人 苺氷り本舗(株)	取組期間：H22～H29 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品に係るチラシ・パンフレット等の作成、試食会の開催、ホームページリニューアル(H22)</li> <li>・新商品の開発(H22～)</li> <li>・販路開拓及び販売促進(H22～)</li> <li>・OEM商品の製造(H22～)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆売上高 44,090千円(H22)→64,737千円(H28)</li> <li>◆雇用の創出 3名(5名(H22)→8名(H28))</li> <li>◆取引先数 60件(H22)→160件(H29)</li> </ul>